

10月 給食だより



令和4年10月号
青梅市立学校給食センター



ハロウィンについて

ハロウインのはじまり

ハロウインは元々、アイルランドの秋の収穫を祝うお祭りでした。
この日は、日本の「お盆」のように、先祖の霊が人々を訪れる日でもあります。



なんで仮装をするの？

ハロウインの日は、先祖の霊と一緒に悪いおばけ(悪霊)もやってきて、悪さをすると考えられていました。そこで人々は、おばけに変装し、おばけの仲間のふりをする事で、自分や家族を守ろうとしました。現在では、たくさんの方が思い思いの格好でハロウインを楽しんでいます。



かぼちゃのランタンは元々「かぶ」だった！？

ハロウインのランタン(ジャック・オー・ランタン)は、アイルランドでは元々かぶで作られていました。ハロウインがアメリカに伝わった際に、アメリカでたくさん収穫できるかぼちゃで作られるようになりました。現在では、アイルランドでもかぼちゃがハロウインのシンボルとなっています。



大切にしたい もったいないの心



「もったいない」という言葉には、物を最後まで大切に使う、食べ物を残さず食べるといった、日本人が昔から大切にしてきた心が詰まっています。ところが近年、まだ食べることができる食品を捨ててしまう「食品ロス」が問題となっています。2020(令和2)年度は約522万tと推計されており、平均すると日本人1人当たり、おにぎり1個分(約113g)の食べ物を毎日捨てていることになります。



10月は国が定める「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。また、10月16日は国連が定める「世界食料デー」です。「もったいない」の心を忘れずに、未来に向けてできることから取り組んでみませんか。

食品ロス削減 3つのコツ

<p>1 買い過ぎない</p> <p>家にある食材をチェックし、使い切れる分だけ買いましょう。</p>	<p>2 作り過ぎない</p> <p>家族の予定や体調を考慮し、食べ切れる分を調理しましょう。</p>	<p>3 食べ残さない</p> <p>作った料理は早めに食べ切りましょう。</p>
--	--	--